

令和5年度 救護施設 萬象園 事業報告

1. 月初平均101.1名(4月～3月)の利用者支援を行った。

○今年度も下記のとおり、コロナウイルス感染予防対策を行ったが、令和6年の1月19日から2月6日の間に利用者48名がコロナに罹患した。

- ① 職員の出勤前の検温と体調確認
- ② 不要不急の外出の自粛
- ③ 利用者の検温と体調確認
- ④ 利用者の外出制限(一部見直し)
- ⑤ 外来者の制限と来園者記録への記載(検温・氏名・所属等)
- ⑥ 通所者の事前の検温と体調確認
- ⑦ 有熱者等は、隔離の感染症対応とした

○ドクターと看護師1名が来園、6回目、7回目のコロナウイルスワクチン接種を行った。

6回目:6月23日 利用者98名、職員2名が接種を受けた。

7回目:12月5日 利用者95名、職員3名が接種を受けた。

○ゴールデンウィーク明けの5月8日、職員の一斉抗原検査を実施。全員の陰性を確認した。

○コロナウイルス5類移行に伴う施設外行事、活動について見直しを行った。

① 買物実習を実施

・6月15日 XYZ丸亀モールに17名、6月27日 フジグランに25名が参加。

・6月28日 フジグランに22名が参加。

・9月7日 XYZ丸亀モールに22名、9月12日 フジグランに24名が参加。

② 月曜日の午前・午後に、届出による外出を再開。(6月5日より)

ファミリーマート・マルナカ・TSUTAYA・郵便局への外出を行っている。

③ 自粛していた施設外でのレクリエーションを再開。6月20日・21日、イオンシネマ宇多津で映画鑑賞を行った。3月13日・14日、四国水族館見学を行った。

④ 7月より、移動図書館(かめまる号)の来園が再開した。

⑤ 昨年からは移動スーパー「おまかせくん」が来園。利用者が買物を楽しみにしている。

毎週水曜日に嗜好品や日用品を乗せたフジ移動スーパー「おまかせくん」が来園。大勢の利用者が買物を楽しんでいる。

2. 丸亀市及び丸亀市競艇事業部と従来通り委託契約を行った。

丸亀城、市民広場、緑道公園の花壇管理・清掃・除草及び競艇場の花壇管理、塩屋町緑地除草作業の委託契約を行った。

3. 令和5年度も居宅生活訓練事業実施施設の指定を受け、居宅生活訓練事業に取り組んでいる。

事業開始12年で、9名が地域移行を行った。令和6年3月31日現在、男性1名と女性1名が居宅生活の訓練を行っている。

4. 令和5年度事業計画における設備整備にて利用者居室の畳替えを行った。(11/8～12/18)

LED照明エスコサービス事業の契約を行った。(11/28)

5. 令和5年度も、生計困難者に対する相談支援事業(香川おもいやりネットワーク事業)、就農訓練事業(香川県の認定事業)、生活困窮者就労準備支援事業・虐待相談窓口(丸亀市との業務委託による)業務を行い、社会貢献事業に取り組んでいる。

6. フルーツファームは、作業支援の他に、就労支援・就労訓練(就農訓練)の場として活動の用途を

広げている。また「産直」への出荷も継続して行き、「育成」「収穫」「収入」と野菜作りの充実感を体感してもらっている。なお、地域交流活動の場としても本格的に活動を再開している。

7. 苦情解決委員会、ヒヤリハット委員会・虐待防止員会・美化委員会の充実を図り、「安全・健康・快適」な利用者支援の向上と、環境整備に努めている。

- 2月21日、香川県健康福祉部障害福祉課より講師を招き、障害者虐待防止施設内研修を実施した。

8. 地域交流活動・実習生の受け入れ等を再開した。

- 5月20日、園内にてフラワーマーケットを実施。63名の来園者があった。
- 6月27日～7月26日、四国医療福祉専門学校介護福祉課2名が介護福祉士実習を行った。
- 7月15日、丸亀市福祉事業団による学習支援(チャレンジ塾)夏野菜収穫体験を実施。小中学生9名、スタッフ4名、福祉事業団2名、市社協1名、市福祉課2名、萬象園利用者3名、職員6名、実習生2名、通所者3名がフルーツファームにて、4年ぶりに夏野菜の収穫体験を行った。
- 10月7日、丸亀市福祉事業団による学習支援(チャレンジ塾)秋野菜収穫体験を実施。小中学生7名、スタッフ4名、福祉事業団2名、萬象園利用者2名、職員6名、通所者2名がフルーツファームにて、秋野菜の収穫体験を行った。
- 10月26日～27日、丸亀市立南中学校の2年生3名が職場体験学習を行った。
- 2月20日～3月13日、四国医療福祉専門学校介護福祉課1名が介護福祉士実習を行った。

9. 丸亀市労働基準監督署、労働基準監督官が来園、労基法・安衛法基準を遵守するよう、是正勧告・改善報告の指摘があった。

- 是正勧告
 - ① 新採用職員に賃金の締日・支払日・勤務時間等を明示した書面の交付。 ② 超過勤務手当誤支給による追給。 ③ 就業規則(給与規程)の変更届出。 ④ 健康診断書による全員通常勤務が可能である証明。 ⑤各職員の出勤・退勤時間を記入できるよう、出勤簿に別葉の用紙を追加。
- 指導改善事項
 - ① 労基法41条で許可を受けた宿日直の断続的宿直業務が相違しないよう、勤務内容の見直しを行った。

10. 施設事務費の改定通知がある。(令和5年9月26日・令和6年3月11日)

11. 令和5年4月4日、香川県議会議員選挙の不在者投票を実施。利用者98名が投票を行った。

12. 令和5年11月9日、丸亀市健康福祉部福祉課より2名、市法人指導監査業務委託契約者公認会計士2名により、令和5年度法人指導監査が行われ、6項目の口頭指摘事項を受けた。

13. 令和6年3月11日に予定されていた、香川県健康福祉総務課による令和5年度救護施設に係る指導監査は、萬象園での新型コロナウイルス感染症の蔓延状況を勘案した結果、中止となった。

14. 全国救護施設協議会(全救協)、中国四国地区救護施設協議会、地域組織での活動。

- 4月18日、全国救護施設 令和5年度個別支援計画に関する検討委員会(WEB会議)が行われ、理事長が委員長として出席。
- 5月11日、令和5年度丸亀市緑のまちづくり協議会総会が行われ、理事長が副会長に再

選された。

- 5月25日、令和5年度全国救護施設協議会常任協議会、協議員総会、救護施設経営者・施設長会議が東京で行われ、理事長が全国救護施設協議会副会長、個別支援計画に関する検討委員会委員長に選出された。
- 6月9日、中国・四国地区救護施設協議会 理事会 総会 施設長会がWEB会議にて行われ、萬象園理事長が会長として、支援課長が事務局として出席。総会にて、理事長が中四国会長に再任された。
- 6月15日、香川県救護身障施設協議会総会が真清水荘で行われ、理事長が出席した。
- 7月6・7日、第52回中国四国地区救護施設研究協議大会・鳥取大会がWEB会議で行われ、理事長が会長として、支援課長がファシリテーターとして、支援課長補佐、指導員2名看護師1名が各分科会に出席した。
- 8月3日、令和5年度第1回障害者虐待防止マネージャー研修会運営委員会が東京で行われ、理事長が出席した。
- 8月24日、令和5年度福祉サービス質の向上推進委員会第1回常任委員会(WEB会議)が行われ理事長が出席した。
- 8月29日、令和5年度中国四国地区救護施設協議会調査研究研修委員会が丸亀で行われ、理事長が会長として、支援課長が調査研究研修委員として、指導員1名が事務局として出席した。
- 9月26日、丸亀市更生保護女性会研修会が丸亀で行われ、理事長が出席した。
- 10月2日、第2回障害者虐待防止マネージャー研修会運営委員会が東京で行われ、理事長が出席した。
- 10月10日、香川DWAT登録研修が高松で行われ、指導員1名が出席した。
- 10月16～18日 第45回全国救護施設研究協議大会が山梨県甲府市で行われ、理事長、指導員2名が出席した。
指導員2名が永年勤続20年により全国救護施設協議会会長表彰を受賞した。
- 11月1日、救護身障施設協議会研究協議大会が高松で行われ、事務長補佐、係長1名、看護師1名、調理員1名が出席した。
- 11月13日、厚生協常任協議会Web会議が行われ、理事長が出席した。
- 11月20日～21日、令和5年度北海道救護施設協議会主催救護施設研究セミナーが北海道で行われ、理事長が出席した。
- 11月27日、令和5年度香川県地域定着支援センター運営推進連絡会議が高松で行われ、理事長が出席した。
- 11月30日、第3回中国・四国地区救護施設協議会理事会が岡山で行われ、理事長は中国・四国地区救護施設協議会会長として支援課長、指導員1名が事務局として出席した。
- 12月12日～13日、救護施設福祉サービス研修会が東京で行われ、理事長が講師として、指導員1名が参加者として出席した。
- 12月15日、第3回障害者虐待防止マネージャー研修会運営委員会がオンラインで行われ、理事長が出席した。
- 12月25日、福祉サービス質の向上推進委員会「苦情相談体制・研修部会」がWEBで行われ、

理事長が出席した。

- 12月27日、香川DWAT活動訓練が高松で行われ、支援課長補佐、指導員1名が出席した。
- 1月11日～12日、令和5年度生活困窮者自立支援全国ネットワーク中国・四国ブロック別研修が高松で行われ係長1名が出席した。
- 1月16日、香川DWATチーム員研修Ⅰが高松で行われ、指導員1名が出席した。
- 1月19日、第4回障害者虐待防止マネージャー研修会運営委員会がオンラインで行われ、理事長が出席した。
- 1月23日、福祉サービス質の向上推進委員会「苦情相談体制・研修部会」第2回部会WEB会議が行われ、理事長が出席した。
- 1月24日、全国救護施設協議会 臨時常任協議員会 拡大災害対策本部会議WEB会議が行われ、理事長が出席した。
- 2月8日、香川県経営者協議会第5回理事会のWEB会議が行われ、理事長が出席した。
- 2月26日、香川DWATチーム員研修Ⅱが高松で行われ支援課長補佐、指導員1名が出席した。
- 2月27日、福祉サービス質の向上推進委員会「苦情相談体制・研修部会」第3回部会WEB会議が行われ、理事長が出席した。
- 2月28日、全国厚生事業団体連絡協議会第3回常任協議員会がWebで行われ、理事長が出席した。
- 2月29日、香川県救護身障施設協議会令和5年度職種別交流会及び研修会が高松で行われ支援課長、事務長補佐が出席した。
- 2月29日、丸亀市障害者虐待防止等実務者会議が丸亀で行われ支援課長補佐が出席した。
- 3月4日、令和5年度中国・四国地区救護施設職員研修会が岡山で行われ、理事長が講師として、支援課長が中国・四国地区救護施設協議会調査研究研修委員として、指導員1名が受講者として出席した。
- 3月18日、福祉サービス質の向上推進委員会 令和5年度第2回常任委員会がWEBで行われ理事長が出席した。

15. 令和5年度 利用者在籍数(月初め在籍者数)(単位:名)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	
105	105	102	100	100	100	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
100	100	100	100	101	100	101.1

(利用者入退園状況)

(令和6年3月31日現在)

入 園 者 状 況			
月 日	性別	病 名	備 考
令和5年 4月	男性	統合失調症+知的障害	施設移管
4月	女性	統合失調症	自立訓練事業所より入所
8月	女性	知的障害	自立訓練事業所より入所
10月	男性	知的障害	緊急一時保護アパートより入所

11月	男性	なし	ビジネスステーションより入所
令和6年			
1月	男性	脳梗塞後遺症	病院より入所
1月	男性	肺気腫	居宅より入所

退園者状況			
月日	性別	病名	備考
令和5年			
4月	女性	統合失調症	死亡
5月	男性	体幹機能障害	地域移行
5月	男性	統合失調症	地域移行
5月	女性	統合失調症	特別養護老人ホームに施設移管
6月	男性	統合失調症	地域移行
6月	男性	アルコール依存症	地域移行
7月	男性	統合失調症	死亡
10月	男性	なし	死亡
11月	男性	生活障害	死亡
令和6年			
1月	男性	知的障害	死亡
2月	女性	知的障害	地域移行
3月	男性	統合失調症	病院入院後3ヶ月が経過し措置切れ
3月	男性	アルコール依存症	死亡

16. 職員状況(令和6年3月31日現在)(単位:名)

	施設長	事務員	主任指導員	介護職員	看護師	栄養士	調理員	医師	介助員	その他	合計
定数	1	2	1	17	1	1	4 (1)	(1)	1	0	28 (1)
現員	1	4	2 (主任+指導員)	23 (4) (内1名精神保健福祉士)	3 (1)	1 (管理 栄養士)	5	(1)	1	0	40 (5)

・下段の()は、非常勤職員の再掲、医師欄の()は嘱託医。

17. 職員有資格状況(法人全体)(単位:名)

社会福祉士	介護福祉士	精神保健福祉士	社会福祉主事	介護支援専門員	正看・准看護師	栄養士
6	15	4	8	5	5	4 (内2名は管理栄養士)

18. 職員受賞者(受章)累計(単位:名)

叙勲	大臣表彰	知事表彰	全社協表彰	県社協表彰	市長表彰	市社協表彰
11	11	14	18	22	19	29

19. 利用者支援状況

「安全、健康、快適」を利用者支援の柱とし、個別支援計画の充実を図り、利用者主体による自己実現現に向けた支援サービスを行っている。また、医療面では嘱託医により、健康管理と疾病の早期発見・早期治療の支援体制を確立するとともに、ヒヤリハット・虐待防止・美化委員会を設置し、利用者支援の向上に努めている。なお従来より、苦情相談窓口を設け、潜在的な不安や悩み、ニーズの早期発見に努めている。

作業支援は、屋内作業・花卉作業・丸亀市委託作業・フルーツファーム等、利用者が希望する作業を提供し、地域交流・社会参加を体験しながら地域生活移行への一助としている。

平成22年6月より、救護施設居宅生活訓練事業を開始。現在までに9名がグループホーム等に地域移行を行っている。随時体験利用も実施しており、現在は2名がシェアホームで地域移行に向け居宅生活訓練を行っている。

また、利用者の機能回復・介護予防のため専門家の指導を仰ぎながら、日課として介護予防体操を実施している。

① 利用者現況(令和6年3月31日現在)

- ・在籍者数 98名(男子60名、女子38名〔平均年齢64歳9ヶ月〕)
- ・精神、知的、身体障害等の重複障害者も多く、精神科医、指導員、看護師、精神保健福祉士の加算認可施設となっている。また、平成22年度より、居宅生活訓練事業の実施施設としての指定を受けている。

② レクリエーション・地域活動

年月日	内 容	参 加 者
令和5年 4月5日	丸亀城での花見会・デザートタイム	利用者、職員全員参加
4月11日	「香の川」パートナーシップクリーン活動:土器川清掃活動	利用者63名、職員12名参加
5月20日	フラワーマーケット実施(63名の来客)	職員8名、実習生1名が担当
6月13日	「香の川」パートナーシップクリーン活動:土器川清掃活動	利用者57名、職員9名参加
6月15日	買物実習(XYZ丸亀モール)	利用者17名
6月20・21日	レクリエーション映画鑑賞(イオンシネマ宇多津)	利用者、職員全員参加
6月27・28日	買物実習(フジグラン・XYZ丸亀モール)	利用者47名参加
6月27日	四国医療福祉専門学校の介護福祉士実習生2名を受け入れ(7月26日迄)	
7月15日	丸亀市福祉事業団による学習支援(チャレンジ塾)夏野菜収穫体験	小中学生9名、スタッフ4名、市2名、事業団2名、市社協1名、職員6名、利用者3名、通所3名、実習2名
7月20日	夕涼み会	利用者全員、職員11名、実習生2名
7月25日	城辰小学校青い鳥教室にスイカを提供(スイカ79個)	
9月7日	買物実習(XYZ丸亀モール)	利用者22名参加
9月12日	買物実習(フジグラン)	利用者24名参加
9月15日	丸亀市社会福祉協議会フルーツファーム体験	社協1名、職員1名、実習生1名
9月23日	第11回ふくしフェスティバル丸亀	職員6名参加
10月8日	丸亀市福祉事業団による学習支援(チャレンジ塾)秋野菜収穫体験	小中学生7名、スタッフ4名、事業団2名、職員6名、利用者2名通所2名
10月28日	川西町庄の獅子舞	利用者多数見学
10月31日	第55回萬象園祭	利用者、職員、理事監事、丸亀市健康福祉部部長参加
11月6日	丸亀聖母幼稚園に花苗寄贈(パンジー135本、ビオラ135本、葉牡丹48本)	
11月7日	「香の川」パートナーシップクリーン活動:土器川清掃活動	利用者61名、職員13名参加
11月10日	丸亀城「菊花展」見学	利用者28名、職員6名参加
11月11日	第2回愛の広場INマルタスに参加、野菜・花苗の販売を行った	職員4名参加
12月5日	丸亀市立城辰幼稚園に花苗寄贈(パンジー、ビオラ320本)	
12月5日	丸亀市立城辰小学校に花苗寄贈(パンジー、ビオラ320本)	
12月8日	丸亀市立城辰幼稚園施設慰問	園児5名、職員3名
12月22日	第55回萬象園クリスマスパーティ実施	利用者、職員、理事監事、丸亀市健康福祉部福祉課長参加
令和6年 1月9日	丸亀中央交番地域安全推進協議会に花苗寄贈(パンジー・ビオラ261本)	
1月10日	レクリエーション、山北八幡宮初詣	利用者69名
2月20日	四国医療福祉専門学校の介護福祉士実習生1名を受け入れ(3月13日迄)	
2月20日	丸亀聖母幼稚園が施設慰問に来園(園児19名、職員4名)	
2月27日	丸亀市文化芸術活動のアウトリーチ活動来園(丸亀市3名、丸亀市社協1名、ダンスグループ「のため」5名)	利用者20名

3月8日	丸亀市立西中学校にパンジー50鉢、シンビジウム2鉢を寄贈	
3月13・14日	レクリエーション日帰り旅行(四国水族館)	利用者、職員全員参加
3月14日	丸亀市立城辰小学校にパンジー50鉢、シンビジウム2鉢寄贈	
3月28日	萬象園創立55周年記念式典開催	利用者、職員全員参加

③ クラブ活動(文化・運動)

- ア) 習字部、美術部、工芸部、遊戯部、手芸部、音楽部、体操部、運動部、図書クラブ
 イ) クラブ活動は、毎月2回実施。各クラブ活動の作品は園内で随時展示している。

・その他

誕生会、学習講座、コーヒータイトム、代表者会の月例行事を実施。
 各担任毎の料理教室は休止している。

④ 作業支援

- ・屋内作業 (67名) 製袋、箱折り、スポット作業
- ・屋外作業 (22名) 花卉作業、洋蘭花卉作業
- ・園外作業 (34名) 緑道公園及び丸亀城管理作業、緑道公園・丸亀城及び市民広場花卉園芸作業、塩屋町緑地除草作業、競艇事業部花卉植付け肥培管理作業、
- ・フルーツファーム (9名) 年間を通じた果菜・野菜の栽培(通所利用者6名)
- ・機能回復、介護予防作業 (12名)
 - ① 介護予防体操
 - ② ゲーム・レクリエーション

20. 職員について(令和6年3月31日現在)

職員は前記のとおり、それぞれが知識と経験を活かし、福祉への情熱を注ぎながら利用者主体の支援サービス充実のため、日々研鑽を行なっている。

なお、福祉に対する熱意と努力の証として、多数の有資格者と被表彰者が在籍する。